

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)

(生命理工医療科学先端研究特論) (医歯理工学先端研究特論)

記

**演題：誤嚥性肺炎対策における歯科の重要性
ー日本呼吸器学会からの要望**

講師：日本大学歯学部感染症免疫学 今井 健一 教授

日時：2025年6月5日(木) 18:00-19:30

場所：Zoomによるオンライン講義

内容：

昨年、日本呼吸器学会から発刊された「成人肺炎診療ガイドライン2024」では、誤嚥性肺炎の項目が新設されると共に、肺炎患者さんの肺から口腔のレンサ球菌とともに嫌気性菌（歯周病原菌）が検出されること、及び肺炎対策としての口腔ケアの重要性が明記されています。「肺炎対策は口腔ケアと肺炎球菌ワクチンが両輪」との位置づけです。今こそ、真の意味での「医科歯科連携」を進め、誤嚥性肺炎対策を通して国民の健康寿命を延伸させるため、必要とするすべての人に口腔ケアを届ける、そんな未来を切り拓いていく必要があると思います。

略歴：

1997年朝日大学歯学部卒業。2001年明海大学大学院歯学研究科修了。名古屋市立大学大学院医学研究科 分子遺伝学PD、細胞分子生物学助教、2010年日本大学歯学部細菌学講座（現 感染症免疫学講座）専任講師、2012年准教授を経て、2016年より教授。
非常勤講師（愛知学院大学、朝日大学、九州大学、昭和大学）

担当：江角 明日香（摂食嚥下リハビリテーション学分野）

MAIL: asuka.5v@gmail.com

※1 メールの件名に【6/5 大学院特別講義】と記載をお願いします。

※2 申し込みのメールは前日までお願いいたします。